

第二部では定番の作品から読み応えのある章段をメインに、
入試を見据えた作品も採録



1 説話

四の宮河原地蔵のこと(宇治拾遺物語)
小大進、
北野の神助を被ること(古今著聞集)

2 随筆

枕草子……………清少納言
宮に初めて参りたるころ
[古典の扉] 中関白家の盛衰
——『枕草子』を読むために
二月つごもりころに
大納言殿参り給ひて

3 物語

源氏物語……………紫式部
物の怪の出現(葵)
[学びを広げる] 能「葵上」
心づくしの秋風(須磨)
明石の君の苦惱(薄雲)
女三の宮の降嫁(若菜上)
柏木の垣間見(若菜上)
萩の上露(御法)
浮舟と匂宮(浮舟)
小野の里訪問(夢浮橋)
[古典の扉] 物語の系譜②——『源氏物語』以後
堤中納言物語 虫めづる姫君
[参考] 愛づ——虫愛づる姫君(中村桂子)

4 日記文学

蜻蛉日記……………藤原道綱母
うつろひたる菊
[学びを広げる] 『蜻蛉日記』広がる逸話
鷹を放つ……………和泉式部
和泉式部日記……………和泉式部
夢よりもはかなき世の中を
紫式部日記……………紫式部
秋のけはひ
日本紀の御局

5 歴史物語

大鏡……………道真と時平
[学びを広げる] 日本三大怨霊
最後の除目
肝試し
道長と詮子

6 評論

古今和歌集仮名序(紀貫之) やまと歌は
俊頼髓脳(源俊頼) 杳冠折句の歌
無名草子 清少納言/紫式部
無名抄(鴨長明) 深草の里
毎月抄(藤原定家) 心と詞
正徹物語(正徹) 一字の違ひ
風姿花伝(世阿弥) 下手は上手の手本
[学びを広げる] 世阿弥の言葉
去来抄(向井去来) 行く春を/岩鼻や
難波土産 虚実皮膜の間
源氏物語玉の小櫛(本居宣長) ものあはれ
[古典の扉] 国学の隆盛

7 近世の文学

西鶴諸国ばなし……………井原西鶴
大晦日は合はぬ算用
[学びを広げる] 読み比べ——太宰治「貧の意地」
曾根崎心中……………近松門左衛門
[古典の扉] 近世の多様な出版文化

巻頭資料

この教科書で学ぶ作品と文学史
絵でたどる平安貴族の一生
装束

資料編

ブックガイド
古典文法要覧
古典文学史年表
古文重要語句
官制・官職/位階
陰暦
古時刻/古方位/十干と十二支
旧国名・都道府県名対照図
住居・調度
京都付近地図/奈良付近地図
平安京条坊図/内裏/大内裏

▶大充実の資料編です。
巻頭に視覚的資料を新設しました。「この教科書で学ぶ作品と文学史」では、全ジャンルの文学史を概観できます。「絵でたどる平安貴族の一生」では、古文読解に不可欠な平安貴族の一生を視覚的に理解できます。

▶「うつろひたる菊」と『拾遺和歌集』『大鏡』を読み比べます。
入試での出題が増えている、ノートにまとめる形式の課題です。

▶入試にも頻出する『源氏物語』の章段数を増やし、第一部と第二部合わせて全11本を採録しました。また、作品全体を見渡せるコーナー「光源氏の物語——長編物語としての魅力」(p.172)、「光源氏亡き後の物語——第三部より「宇治十帖」を中心に」(p.186)を新設しました。

▶入試を見据えて、評論の単元を設けました。さまざまな時代・ジャンルの文章を豊富に採録しています。